

## 高松市在住外国人意識調査結果

## 1 調査期日

平成24年10月

## 2 調査対象

高松市に在住する外国人

## 3 調査人数等

- (1) 人数：43人
- (2) 年齢：20歳～50歳
- (3) 出身国：中国，台湾，カンボジア，ベトナム

## 4 調査項目（5項目）

- (1) 出身国
- (2) 年齢
- (3) 在日年数
- (4) 日本に来て日常生活を過ごす上で不便に感じたこと
- (5) 外国の人が過ごしやすいするためにはどうすればいいか

## 5 主な意見

## 【不便に感じたこと】

- ・日本語が分からない（漢字が分からない，地名が読めない，同音異義語が多い）。
- ・どこで日本語を勉強したらいいのか分からない（いろいろな情報が入ってこない）。
- ・案内表示や乗車方法が分からないため，交通機関を使えない。
- ・交通機関の値段が高く便数が少ない。
- ・行政の資料は記載する箇所が多く複雑で，分かりづらい。
- ・税金や年金などの支払場所が分からない。
- ・商店街が早く閉まる。
- ・ゴミの分別の種類が多い。

## 【今後どうすればいいか】

- ・日本語を勉強し，仕事をしたいので，そういうチャンスをつくって欲しい。
- ・日本語を学ぶ場（アイバルなど）の情報を，大学やデパートで広報して欲しい。
- ・英語や中国語標記の看板や案内を増やして欲しい。
- ・公共交通機関の便数を増やすと共に，外国人の割引制度が欲しい。
- ・病院などで専門用語の分かる通訳の人や，外国人用の受付があると助かる。

## 【その他】

- ・大変便利で暮らしやすい。
- ・病院はとても清潔で静かであった。